

労働保険特別会計 平成17年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	10,202	11,710	1,507	未払金等	388	364	△23
未収金	106	104	△1	前受金	150	202	51
貸倒引当金	△50	△51	△1	責任準備金	7,966	7,933	△32
有形固定資産	262	221	△40	その他	141	140	△0
うち国庫財産 (公共用財産を除く)	252	213	△39	負債合計	8,646	8,640	△6
出資金	980	977	△3	< 資産・負債差額の部 >			
その他	21	25	4	資産・負債差額	2,876	4,348	1,471
資産合計	11,523	12,988	1,465	負債及び資産・負債差額合計	11,523	12,988	1,465

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	2,045	2,876	831
本年度業務費用合計(A)	△3,046	△2,943	102
財源(B)	4,110	4,445	335
その他	△232	△31	201
本年度末資産・負債差額	2,876	4,348	1,471

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
人件費等	83	84	0
労災保険給付費	774	771	△3
福祉施設給付費	119	119	△0
失業等給付費	1,392	1,354	△37
補助金等	193	181	△11
委託費等	180	177	△3
その他	189	145	△43
本年度業務費用合計	3,046	2,943	△102

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支	△3,105	△2,971	△133
財務収支	—	—	—
本年度収支	△3,105	△2,971	△133
(業務収支+財務収支)			
資金への繰入等	△997	△1,434	△436
資金残高等	9,832	11,266	1,434
本年度末現金・預金残高	10,202	11,710	1,507

平成17年度について

資産合計は1兆4,654億円の増加、負債合計は61億円の減少、資産・負債差額は1兆4,716億円の改善、業務費用は1,029億円の減少となりました。資産合計の増加の主な要因は現金・預金の増1兆5,077億円であります。資産・負債差額の改善の主な要因は、業務費用合計と財源の差額1兆5,026億円及資産評価差額△312億円であります。業務費用の減少の主な要因は、失業等給付費の減378億円及び責任準備金繰入(戻入)額の減362億円であります。

留意点

主な増減内容

- 貸借対照表
(資産)
現金・預金…雇用勘定+1兆4,094億円
有形固定資産…雇用勘定△227億円、労災勘定△179億円
(負債)
責任準備金…労災勘定△327億円
- 業務費用計算書
失業等給付費…雇用勘定△378億円
その他…責任準備金繰入(戻入)△362億円
- 資産・負債差額増減計算書
本年度業務費用合計と財源合計との差額 +1兆5,026億円
(上記(A)+(B)により算出)⇒企業会計の「当期純損失」に相当
保険料収入の増+3,767億円、無償所管換等の増+2,332億円
- 区分別収支計算書
業務収支…保険料収入+3,772億円
前年度剰余金受入+1,021億円
失業等給付費△900億円